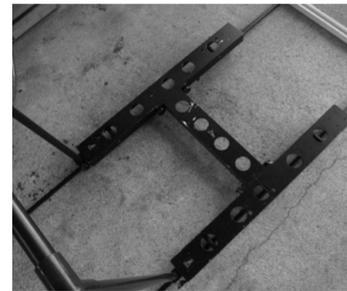




横の動きに縦方向が加わると複雑な動きになる 画期的なスライドレール

世界初の多角度撮影装置。X軸、Y軸の2軸方向のリニアレールを使用した移動撮影用スライダ。動きは滑らかで、この2軸の動きとパンを組み合わせることで、複雑な動きを演出することができる。最大荷重は15kg。移動距離はX方向に90cm、Y方向に50cmだが、特注でさらに長いものを作ることもできる。レンタルは1日1万円。



コンパクトドリーに 秘められたこだわり

コンパクトレールドリーはオリジナル製品。コンパクトで軽量なので、持ち運びも簡単。最大荷重は150kgなので人乗りドリーとしても使用できる。トラックの長さは標準で5mで、オプションで延長可能。接合部はネジ式でつなぎ目を越えるときもブレがない。細い路地で撮るための42cm幅や30cm幅にするオプションもあり。価格は345,000円。レンタルもあり。

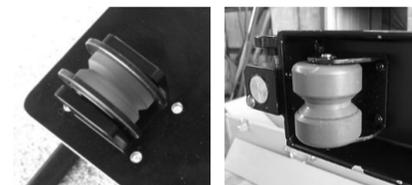


継ぎ足して使える コンパクトなクレーン

ドイツのABCプロダクツ社のクレーン。サイズはS、M、L、XLの4種類があり、色分けされたワイヤーを選ぶことで組み立てもスムーズ。Lまでは最大荷重が5kg、XLの場合は3.5kg。レンタルは1日2万円。



ハイアングルとローアングルを こなせる一石二鳥のツール



Sticker Jibは簡単な手持ちのジブ。カメラの耐荷重は1.6kg。ハイアングルだけでなく、ローアングルでも安定して撮影できる。6万円弱。さらにフロアリングバージョンではコンパクトなレールの上を滑らせるような動きが可能に。そのキャスター部分も好みに応じてゴム製か樹脂製か、リクエストに応えることもできる。



シネマックス

映像機材の設計、製造、販売、レンタルを行う。都内のレンタルショップでのその製品は扱われている。埼玉県所沢市下安松901-46 TEL04-2944-4691 <http://www.cinemax.jp/>

憧れの特機の世界を覗いてみたい！
映画と言えば、カメラを滑らかに動かす特殊機材(特機)が活躍する。
映像が好きな人にとってはまさに憧れの世界。
そんな特機をオリジナルで開発し、販売・レンタルしているシネマックスを取材した。

映

画フィルムの編集機器メーカー、斎藤工作所として設立されたのが50年以上前。昔からの8ミリシネファンであれば、もしかしたら、シネマンというメーカーをご存じかもしれないが、そのシネマン用品を買取し、映画関係の用品を手広く扱っていた。1998年分社化し、シネマックスとなり、以後、映像放送機器の製造、設計、販売、レンタルをおこなっている。今では欧州の様々な映画関係機材会社の国内輸入販売代理店になっているが、基本はオリジナル製品を設計、製造するのがベース。また放送局のリクエストに応じて特殊機材を製造することもある。今回はデジタル一眼ムービーで使える比較的コンパクトなものを紹介していただいた。すべて購入可能だが、まずはレンタルで感触を確かめて、使用頻度が高くなりそうだったら購入するというパターンも多いそうだ。また最近開発したXYスライダは自信作で実用新案を申請中。こちらはレンタルショップのテックス(次ページ参照)でも扱っているとのこと。細かい部分にこだわりがあるのがシネマックスのオリジナル商品のいいところだ。